「びわ湖疏水船ガイドブック」多言語（簡体字・韓国語）版制作

1　適用範囲

本仕様書は、「びわ湖疏水船ガイドブック」の多言語（簡体字・韓国語）版制作について、仕様を定めるものである。

2　法令等の遵守

受託者は、本仕様書、京都市上下水道局契約規程その他業務上関連する法令及び条例等を遵守しなければならない。

3　契約期間

契約締結の日から令和８年１２月２５日まで

4　業務内容

京都市上下水道局（以下「上下水道局」という。）が平成２９年度に制作をし、令和７年度に内容改訂をした「びわ湖疏水船ガイドブック」の多言語化（簡体字・韓国語）を行い、多言語版データを納品すること。

なお、本契約において、印刷は行わない。

5　支払方法

完了後一括払い

6　提出物

受託者は、以下に定めるものを上下水道局総務部総務課に提出すること。

⑴　４に定めた成果品
⑵　請求書
⑶　業務履行報告書
⑷　その他当局が必要と認めるもの

7　版権・著作権

ガイドブックの版権・著作権は、上下水道局に帰属する。

8　その他

⑴　受託者は、履行期限内に円滑に業務が進められるよう、十分な体制で臨むこと。
⑵　本仕様書に記載のない事項又は仕様書に疑義が生じた場合は、上下水道局と協議し、その決定に従うこと。
⑶　上下水道局は、必要に応じて、業務内容の変更を行うことができる。この場合において、受託者と協議のうえ決定するものとする。

先人の想いがつながり、成し遂げられた明治の偉業。

びわ湖疏水船、いま、蘇る。

事実上の東京遷都により、急激に衰退した明治維新後の京都。復活の切り札となったのが、琵琶湖疏水の建設でした。当時の京都府年間予算の約2倍という未曽有の大プロジェクトは、外国人技師に頼らず日本人だけで明治23年（1890年）に完成しました。それは、日本の文化芸術を紡いできた千年の都を、何としても復活させなければならないという先人の熱い想いが結集し、創意と工夫、血のにじむ努力で成し遂げられた偉業でした。産業発展の礎となり、京都の人々の生活を今も支え続ける琵琶湖疏水。京都復活にかけた先人たちの夢の跡に想いを馳せ、約70年の時を経て蘇った疏水船に乗りながら、麗しく神々しいその景観をご堪能ください。

京都～大津の奇跡と軌跡、琵琶湖疏水に訪ねてみれば、
今日ある人々の生活そして笑顔にたどり着く。
明治期京都の偉大な事業、今に想えるひとときを―。

事業主体／琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会
（構成団体）京都市、公益社団法人京都市観光協会、京都商工会議所、滋賀県、大津市、公益社団法人びわ湖大津観光協会、大津商工会議所、
京阪ホールディングス株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社
運営事業者／琵琶湖汽船株式会社、株式会社JTB

びわ湖疏水船公式ウェブサイト　URL http://www.biwako-sosui.jp/　びわ湖疏水船　検索

※表紙の写真は合成画像です。

平成30年3月28日 発行

since1890

びわ湖疏水船

Biwako Sosuisen
kyoto — otsu

— 京都↔大津 since1890 —

乗船公式ガイドブック
Boarding Official Guide Book



近代建築が語る明治の浪漫。

岡崎・蹴上エリア

京都の近代化を牽引した岡崎・蹴上エリアは、琵琶湖疏水により生まれた水路閣や蹴上インクライン、ねじりまんぽ、疏水の豊かな水を活かした日本初の水力発電所や無鄰菴などの近代遺産が集まる。100年後の京都を思い描いて奮闘した明治の先人たちの浪漫は、今もしっかりと息づいている。

蹴上インクライン



建設当時世界最長の約528mのレールが形態保存されている傾斜鉄道跡。

平安神宮(神苑)



平安神宮の広大な庭園の神苑は、明治の代表的造園家・小川治兵衛(植治)が疏水の水を引き入れて作庭。

疏水周辺、蹴上・岡崎を歩いてみれば

乗下船場周辺の蹴上エリアに事殉職者弔魂碑など琵琶湖疏でもおなじみの水路閣へ。琵琶苑など疏水の水が使われるス開かれた夷川船溜にたたずむは、颯爽とした若き田邊朔郎像をはじめ、インクライン、田邊が自費で建立した工水の偉業と苦難を語るスポットが続きます。疏水分線をたどれば、映画やドラマ湖疏水記念館から岡崎エリアに足を向ければ、京都市動物園や平安神宮の神ポットが並びます。神苑にある日本最初の電車(後継機を展示)、疏水竣工式が北垣国道の像も見逃せません。



北垣国道像



ペンギンやカバは疏水っ子!!





無鄰菴

東山を借景とし、疏水から引き入れた水の流れが美しい「山縣有朋」の別邸、造園家・小川治兵衛(植治)による明治時代の名園。

岡崎・蹴上エリアMAP

岡崎・蹴上エリア



琵琶湖疏水記念館

開館時間など、下記よりご覧下さい。

琵琶湖疏水記念館 検索

北垣国道による起工趣意書、田邊朔郎が英文で書いた卒業論文草稿や英国土木学会から田邊に授与されたテルフォードメダル、蹴上発電所で実際に使われていたスタンレー社製発電機など、プロジェクトの全容を示す貴重な資料のほか、大正時代の蹴上付近を復元したジオラマ等が展示されています。



蹴上発電所

明治24(1891)年に造られた日本最初の事業用水力発電所(写真は現存する第二期の建物)。当初は80キロワットのエジソン式直流発電機2台が設置されました。





発電所入口「亮天功」(てんこうをたすく)〈意味〉民を治めその所を得さしめる(書経・瞬帝の勅語の一節) 〈揮毫者〉久邇宮邦彦(皇族・昭和天皇の皇后の父)

疏水工事殉職者弔魂碑



田邊朔郎が1902年、明治35年に自費で建立した。

一身殉事萬戸霑恩(いっしんことにじゅんじばんこおんにうるおう)は17名の殉職者を慰霊している。田邊朔郎 筆

疏水合流トンネル北口

田邊朔郎の扁額

「藉水利資人工」(すいりをかりてじんこうをたすく)



〈意味〉自然の水の力を人間の仕事に役立てる。(明治天皇の竣工式における勅語) 〈揮毫者〉田邊朔郎

南禅寺 水路閣



レンガ・花崗岩造りのアーチ型橋脚。南禅寺境内の景観に配慮し田邊朔郎が設計・デザイン。

ねじりまんぽ

インクライン下のトンネル。レンガを斜めにねじって積んだ「ねじり」と鉄道の線路をくぐるトンネルの「まんぽ」。出入口の北垣国道の扁額は、優れた眺めと考えによる「雄観奇想(ゆうかんきそう)」。埋め込まれた落款には「楽百年之夢」。100年先の京都への北垣の想いが伝わる。







田邊朔郎像

片手に設計図を持つ主任技師、若き活躍の姿を想い起こさせる。



⑭ 第三トンネル西口と旧御所水道ポンプ室

防火用水を御所へ送る目的により明治45年(1912年)に竣工。円柱付きバルコニーなどを備えたネオ・ルネサンス様式の豪華な装飾が圧巻。設計は京都国立博物館(旧帝国京都博物館)や迎賓館赤坂離宮(旧東宮御所・2009年国宝指定)を手掛けた明治の建築界の重鎮片山東熊と山本直三郎。明治の貴重な産業遺産として今にその風格を残しています。



疏水POINT 01

疏水のトンネルの洞門には、「扁額(へんがく)」と呼ばれる文字が彫り込まれた額が掲げられている。揮毫したのは初代内閣総理大臣の伊藤博文をはじめ、政府の要職を歴任した明治の元勲たちで、琵琶湖疏水の建設が巨大事業だったことが分かる。大津側は文字を掘り下げた陰刻、京都側は文字が浮き出る陽刻にするなど、デザインにも趣向が凝らされている。また、疏水実現の最大の功労者である北垣国道の扁額は、第1トンネル内に隠れるようにあり、その人柄が感じられる。

⑬ 第三トンネル





山科から蹴上に抜ける「第三トンネル」は延長約850m。

東口「過雨看松色」(かうしょうしょくをみる)



〈意味〉時雨が過ぎると、いちだんと鮮やかな松の緑をみることができる。(漢詩の一節) 〈揮毫者〉松方正義(第4・6代内閣総理大臣など歴任)



西口「美哉山河」(うるわしきかなさんが)



〈意味〉なんと美しい山河であろう。(史記・呉記列伝) 〈揮毫者〉三条実美(太政大臣)



※元勲画像は国立国会図書館蔵

疏水が奏でる自然美と歴史のハーモニー。

山科エリア

春の桜並木と菜の花の競演や新緑、紅葉に彩られる東山自然緑地（山科疏水）を中心に、毘沙門堂や本圀寺など山々に点在する名刹めぐりが楽しい山科エリア。疏水はゆるやかなカーブで数々の名所をめぐり、至福のひと時を与えてくれる。



⑨ 安朱橋

山科駅から毘沙門堂への参道にある安朱橋付近には、桜や紅葉のほか地域の方が丹精を込めて育てる菜の花やコスモスなど四季折々の花が咲き誇ります。



⑫ 第11号橋

第三トンネルの東口付近にある小さな橋は実は、日本で初めて造られた鉄筋コンクリート橋。橋の横に建てられた石碑が先人の偉業を讃えています。



本邦最初鉄筋混凝土橋



⑪ 第二トンネル

水路上で最も短い約124mのトンネル。西口は馬蹄型の出入口が特徴的。



西口



東口



西口「随山到水源」
（やまにしたがいてすいげんにいたる）



〈意味〉山に沿っていくと水源にたどりつく。（漢詩の一節）〈揮毫者〉西郷従道（海軍大臣、内務大臣など歴任。西郷隆盛の弟）



東口「仁以山悦智為水歓」
（じんはやまをもってよろこび、ちはみずのためによろこぶ）



〈意味〉仁者は動かない山によろこび、智者は流れゆく水によろこぶ。（論語）〈揮毫者〉井上馨（農商務、外務、内務、大蔵大臣）

※元勲画像は国立国会図書館蔵

⑩ 本圀寺正嫡橋



山科疏水を斜めに渡る鮮やかな朱塗りの橋。参道には日蓮上人ゆかりのお寺、本圀寺がある。



毘沙門堂（護法山安国院出雲寺）

七福神の一人、毘沙門天を本尊とする703年創建の由緒ある寺。天海大僧正とその弟子公海大僧正によって1665年に現在の場所に再興される。春は樹齢150余年の枝垂桜をはじめとした桜の花が咲き、秋は紅葉で境内は鮮やかな朱色に染まる。



⑧ 四ノ宮舟溜

かつての船の荷下しや船頭の休憩場所。今は東山自然緑地として紅葉やイチョウが美しく、サギが佇む憩いの場となっています。



⑦ 藤尾橋

琵琶湖疏水に架けられた最初の橋。当時から残るレンガと石造りの橋台が見られる。

⑥ 緊急遮断ゲート

阪神淡路大震災の経験から、大地震による堤防決壊時に水流を自動停止するため設置された。

ウォーキングツアー 【お問い合わせ】びわ湖疏水船受付事務局 TEL. 075-365-7768

琵琶湖疏水の山科地区は、山科疏水と呼ばれるおだやかな時間の流れる「疏水みち」。桜や紅葉の名所でもあり、紅葉の美しい毘沙門堂、「忠臣蔵」ゆかりの瑞光院、天智天皇陵など神々しく風光明媚な景観が楽しめます。





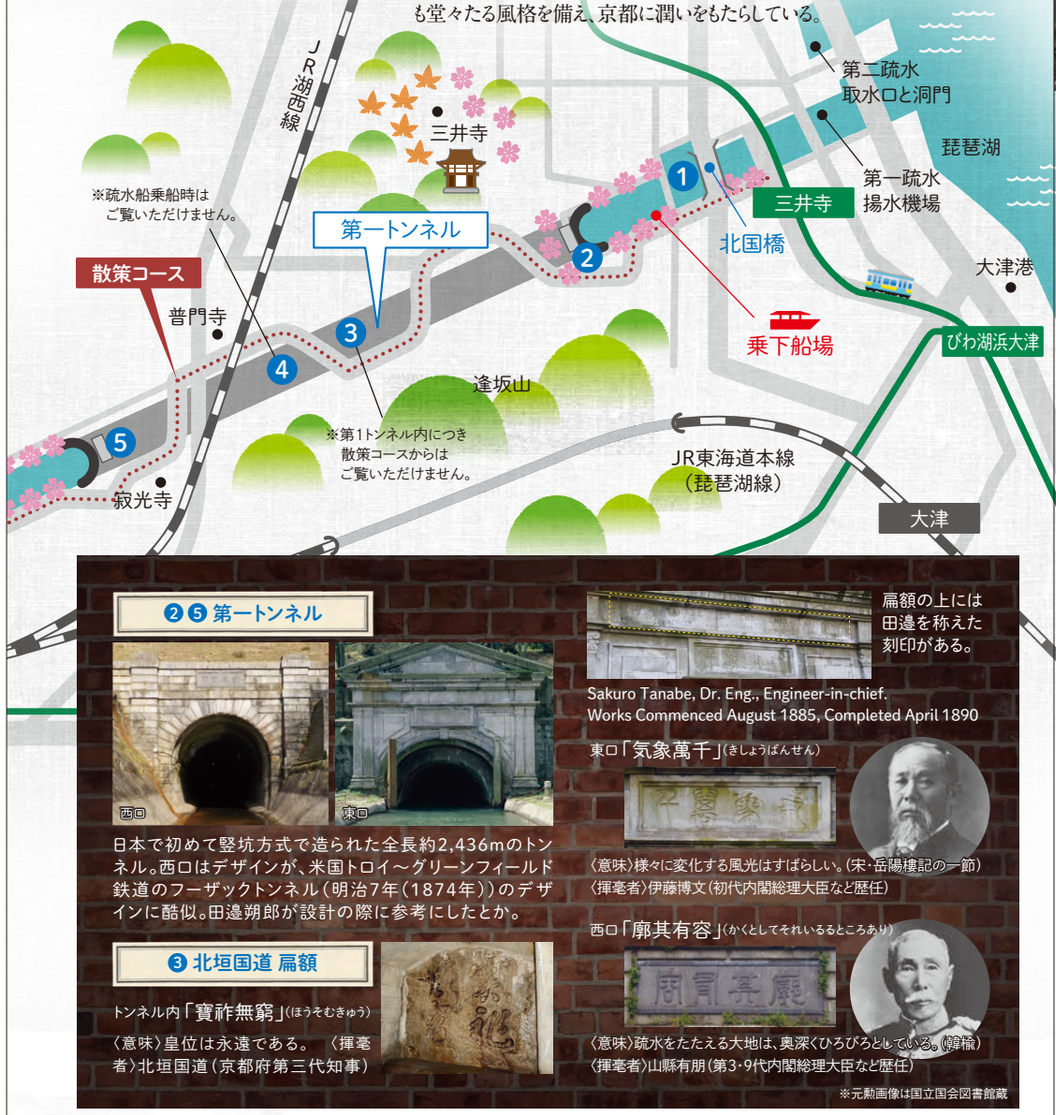
東山自然緑地

コース（例）
山科乗下船場～山科疏水路～安朱橋～瑞光院～毘沙門堂～藤原順子後山階陵～安祥寺川～JR山科駅
120分／約3km
※2018年8月13日～下り2便大津⇒山科のご乗船券とセットでのみお申込みいただけます。

母なる湖に抱かれた疏水の源。

大津エリア

琵琶湖から始まる疏水の流れ。起点となる大津エリアは、天智天皇ゆかりの近江神宮や三井寺をはじめとした歴史と、日本最大の湖・琵琶湖の景観が魅力。疏水工事の最大の難関であった第1トンネルは、約130年の時を経ても堂々たる風格を備え、京都に潤いをもたらしている。



❷❺ 第一トンネル

日本で初めて竪坑方式で造られた全長約2,436mのトンネル。西口はデザインが、米国トロイ～グリーンフィールド鉄道のフーザックトンネル（明治7年（1874年））のデザインに酷似。田邊朔郎が設計の際に参考にしたとか。

❸ 北垣国道 扁額

トンネル内「寶祚無窮」（ほうそむきゅう）

〈意味〉皇位は永遠である。〈揮毫者〉北垣国道（京都府第三代知事）

扁額の上には田邊を称えた刻印がある。

Sakuro Tanabe, Dr. Eng., Engineer-in-chief.
Works Commenced August 1885, Completed April 1890

東口「気象萬千」（きしょうばんせん）

〈意味〉様々に変化する風光はすばらしい。（宋・岳陽樓記の一節）
〈揮毫者〉伊藤博文（初代内閣総理大臣など歴任）

西口「廓其有容」（かくとしてそれいるるところあり）

〈意味〉疏水をたたえる大地は、奥深くひろびろとしている。（韓愈）
〈揮毫者〉山縣有朋（第3・9代内閣総理大臣など歴任）

※元勲画像は国立国会図書館蔵



❷ 第一トンネル東口

水路に映える美しい桜。三井寺に続く絶景の桜並木は幻想的な景色。夜間のライトアップも素晴らしい。

❶ 大津閘門（こうもん）





石と煉瓦で造られた本格的洋風閘門。門扉を開閉することで水位を調節し、水や舟を行き来させていました。琵琶湖疏水通水式は、明治天皇ご臨席の下で開催され敷地内には記念碑が立っています。

❹ 第一トンネル第一竪坑



当時日本最長、全長2,436mのトンネルを掘るために山の両側から掘り進むほか、山上から垂直に穴を掘り、そこからも両側に掘り進めて工期を早める「竪坑方式」を日本で初めて採用（深さ約47m）。



三井寺（長等山園城寺）

湖国近江の名勝、近江八景の「三井の晩鐘」でも知られる天台寺門宗の総本山。春の桜、秋の紅葉の名所としても名高い。



大津港



写真はミシガン。琵琶湖の南湖を周遊する外輪船。スカイデッキから眺める360度の琵琶湖の大パノラマが楽しめます。

石山寺



近江八景「石山の秋月」で名高い、源氏物語ゆかりの古刹。源頼朝が寄進したと伝えられる日本最古の多宝塔は国宝に指定。





すべては未来の京都のために—。
先人たちの夢の水路(みち)。

運命に引き寄せられた二人の出会いから京都の夢は、動き始める。

「琵琶湖の水を京都に引く」。それは、江戸時代から京都の人々が抱き続けてきた夢であった。しかし、百人一首で清少納言が詠った「逢坂の関」がそれを許さず、実現させることはだれにもできなかった。

その夢が実現に動き出すのは、尊王討幕の志士としても活躍した京都府第三代知事・北垣国道と、幕臣の家の長男として生まれ工部大学校（東京大学工学部の前身）で土木工学を学んでいた田邉朔郎の出会いからであった。

幕末の騒乱と東京遷都で人口が減少し産業が衰退した千年の都を、琵琶湖の水で再生する。北垣は政治家としてその実現に奔走し、田邉は明晰な頭脳で琵琶湖疏水に関する卒業論文を書き上げていた。幕末なら敵味方に分かれていたかもしれない二人は、京都の夢の実現という運命に引き寄せられ出会った。北垣は、当時の国家予算7000万円、内務省土木関連予算100万円の時代に、125万円の巨費をかけた大工事を、弱冠21歳の工学士・田邉朔郎に託した。



工事中の大津運河。荷車や牛車で土砂を運ぶ様子に、工事の大変さがうかがえる。



完成当時の大津閘門

日本人の手による初めての一大土木事業。近代日本の知恵と情熱を結集して乗り越える。

明治18（1885）年に着工された疏水建設は、未曾有の大土木工事で、資金の確保、技術の蓄積など多くの困難があった。特に、当時日本最長であった2436メートルの第1トンネルは、地盤が硬く、湧水の多い地質の難工事であった。田邉は日本で初めてとなる竪坑方式を採用し、山の両側だけでなく4方向からの掘削という新工法でこれを完成させた。



第1疏水第2トンネル東口での洞門工事（明治21年）

また、琵琶湖と蹴上船溜（インクライン上部）の水位差は約4mで、約8kmの距離を平均2000分の1の超緩勾配で水を流している。そのためには非常に高度な測量と施工の技術が必要だった。山を貫き山腹をゆるやかに巻く疏水は、計算されつくした流れでもある。約130年前に外国人技師に頼らず日本人だけで完成させた琵琶湖疏水は、近代日本の知恵と情熱の結集であった。

疏水の水。それは、近代産業を育み古都のまちを守り、潤いをもたらした命の水。

計画当初、疏水は田畑の灌漑や水車を動力にした産業の育成を主要目的にしてきたが、完成を直前にして水車配置方式から水力発電に切り替えられた。この大きな方針転換は、米国視察に行った田邉が北垣に提案した。水力発電によって生まれた電気は日本初の電気鉄道を走らせるなど近代京都の発展の推進力となった。

疏水の流れは、舟運にも活用され、米・炭・木材・石材・北陸の海産物などの運搬や、観光客を乗せた遊覧船も多く出帆した。さらに、京都御所や東本願寺の防火用に利用され、社寺や日本庭園に引水して美しい庭園が作られた。

千年の都として伝統文化を伝えるとともに、ハイテク企業が集積する現代の京都。世界的にも稀有な都市づくりの源流は、近代産業を育成し、古都のまちを守り、潤いの風景を演出した琵琶湖疏水にたどり着く。明治45（1912）年に完成した第2疏水とともに、琵琶湖疏水は今も命の水を京都に運び続ける。



蹴上浄水場（明治45年当時）





完成当時の大津閘門

琵琶湖疏水建設の立役者と、その軌跡

幕末の志士として活躍した北垣国道〈知事〉

「天保の大飢饉」などで幕政が揺らいだ1836年、但馬の国で在郷の武士の家に生まれる。5歳にして儒学者・池田草庵の私塾で学んだ。欧米列強の来航で幕末の騒乱が始まり、1863年、平野国臣らと共に「生野の変」を起こし、尊王討幕の志士として活躍、鳥羽伏見の戦いに始まる「戊辰戦争」に参軍。明治維新後は北海道開拓使、高知県知事などを経て、1881年（明治14年）第三代京都府知事に就任。京都復活のために、琵琶湖疏水の建設に向けて動き出す。



北垣 国道（1836～1916年）
※写真：琵琶湖疏水記念館常設展示図録から転載

- 天保7年（1836年）
  但馬で生まれる
- 【1853年ペリー来航】
- 文久3年（1863年）
  生野の変に挙兵するも敗れて、長州に潜伏
- 【慶応3年 大政奉還】
- 慶應4年／明治元年（1868年）
  戊辰戦争に参軍
- 明治4年（1871年）
  北海道開拓使
- 【1879年 エジソンが電球を発明】

エピソード1 琵琶湖疏水建設の実現に向けた誠心誠意の説得に挑む

幕末の志士として活躍した北垣は、政府要人などの人脈を駆使して、琵琶湖疏水建設の了承を取り付けた。しかし、その実現のためには工事費のための増税や、「京都や大阪が洪水になる」「琵琶湖の水が枯れる」などの反対運動が壁となって立ちふさがる。北垣は反対者や不安を訴える人々のもとに出向いて熱心に説明し、最後には京都府民を味方につけた。空前の大事業は、この誠実な人柄がなければ実現しなかったかもしれない。

幕臣の家に生まれ土木工学を学んだ田邊朔郎〈技師〉

1861年（文久元年）、幕臣、田邊孫次郎を父に江戸に生まれる。工部大学校（後の東京帝国大学工学部）に進学し、最先端の土木工学を学んだ。教授陣は主にグラスゴー大学から来たイギリス人で講義は英語で行われていた。北垣が京都府知事に就任した1881年、田邊は学術調査のため京都へ派遣され、琵琶湖疏水の測量調査を行う。後に卒業論文にまとめた田邊は工部大学校校長・大鳥圭介の紹介で北垣と出会い、卒業と同時に京都府に奉職。満23歳で工事責任者となり、満28歳の時に工事が完成した。



田邊 朔郎（1861～1944年）
※写真：京都市上下水道局・田邊家資料より

- 明治12年（1879年）
  工部大学校に入学
- 明治14年（1881年）
  琵琶湖疏水の測量調査を開始
- 明治16年（1883年）
  工部大学校を卒業、京都府の御用掛に採用される（満21歳）
- 明治18年（1885年）
  工事責任者（満23歳）
- 明治23年（1890年）
  工事完成（満28歳）

エピソード2 朔郎の先見性と国際的視野を育てた田邊太一

朔郎は生後すぐ父を亡くした。朔郎を支援した叔父、田邊太一は幕府と明治政府の外交官で、岩倉具視の米欧使節団に同行して一等書記官を務めた。朔郎に工部大学校進学を勧め、先見性と国際的視野を身に着けさせた。

エピソード3 左手で書き上げた卒業論文

卒業論文作成のため、重いハンマーと測量機器を担いで大津と京都間の山中を測量していた朔郎は、誤って右手中指をハンマーで強打し、利き手の右手が使えなくなった。卒業論文はすべて英文で書かれているが、驚くことに左手で書いている。この強い精神力が、その後の疏水工事の困難を乗り越える力となった。



明治18年(1885年)空前の大工事が始まった

北垣と田邉の出会いから3年後、ついに工事に着工。疏水工事の全責任者となった田邉は、この時、満23歳だった。昼は工事を指揮し、夜は作業者に最新土木技術を教えながら、日本人が経験したこともない大トンネル工事に挑んだ。工事が進む中、米コロラドの銀鉱山で水力発電の情報を得た田邉は、北垣に米国視察を申し出た。

- 明治18年(1885年)
  工事着工
- 明治21年(1888年)
  工事の途中で、米国の水力発電開始の情報を得て10月米国視察へ
- 【1887年 東京では日本初の石炭火力発電所完成】

北垣知事の勇気ある大英断!

エピソード4

100年先を見据えた提言

田邉:知事閣下、現在計画の
水車配置方式を取りやめて、
インクライン下に水力発電所を
建設しては如何でしょう。

北垣:水力発電所だと?
田邉君、今更何を言い出すんだ。
国にも、議会にも、府民にも
水車配置方式で
話を進めてきたではないか?

田邉:閣下、お言葉ですが、
技術の進歩は早く、欧米では
水車より電力の利用に傾斜しています。
疏水の水で電力を起こし、
工場を造り、電車を走らせ、
家庭や街に電灯を灯します。
いま、水力発電に切り変えなければ
時代遅れになってしまいます。
どうか、ご決断を!

電気についても最新の知見を得ていた田邉は、米国での水力発電情報を得て、計画当初の水車配置方式から水力発電所建設へと計画変更を提案した。北垣は困惑したが、田邉の熱意と100年先の京都を考えて英断した。北垣は田邉と議員高木文平に米国視察を命じ、水力発電などの視察報告を聞いた北垣はこの英断が正しいと確信した。



田邉がコロラド州で視察後、第一期蹴上発電所で使われたスタンレー社の発電機(琵琶湖疏水記念館展示)

- 明治21年(1888年)
  田邉、米国コロラド州アスペンで水力発電を視察
- 明治22年(1889年)
  第1トンネル(2436m)、第3トンネル(849m)貫通
- 【1889年 大日本帝国憲法が発布、京都市が誕生】
- 明治23年(1890年)
  琵琶湖疏水(第1疏水・大津～鴨川合流点)完成。竣工式は夷川船溜、通水式は大津閘門で挙行。大文字に火を灯すなどの盛り上がりを見せた。明治天皇、山縣有朋等の政府要人などが列席。



完成当時の大津閘門

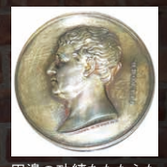
二人の偉業と京都を愛する心

琵琶湖疏水のほか、京都商工会議所の設立、第三高等学校(後の京都大学)の誘致などで京都の近代化の礎を築いた北垣は、その後、北海道庁長官、貴族院議員などを歴任した。田邉は疏水完成後、北垣の長女静子と結婚。媒酌人は榎本武揚だった。その後は東京・京都の帝国大学教授も歴任するとともに、北垣の要請で北海道の鉄道開発にも携わり、第2疏水や関門トンネルなどの建設にも尽力した。北垣、田邉とも晩年は京都で過ごし、没した。

- 1890年(明治23年)
  田邉、北垣の長女静子と結婚
- 1891年(明治24年)
  北垣、北海道開発庁長官に就任
  田邉、東京帝国大学教授に就任
- 【1892年 蹴上発電所完成
  (日本初の事業用水力発電)、
  1895年京都電気鉄道による
  日本初の路面電車運行開始】

世界が認めた琵琶湖疏水の偉業

琵琶湖疏水の功績が認められ、田邉は1894年(明治27年)日清戦争が始まった年に、英国土木学会からテルフォードメダルを授与された。このメダルは土木学会の最高賞であり、日本人で受賞したのは平成30年の今も田邉一人である。また、2016年(平成28年)には、蹴上発電所が産業発展に貢献した施設として電気・電子技術の世界組織IEEEのマイルストーンに認定され、グラハム・ベルやトーマスエジソンなどの業績と肩を並べる偉業であったことが伺える。



田邉の功績をたたえたテルフォードメダル(琵琶湖疏水記念館 展示)

第2疏水の建設

第1疏水で賄いきれない電力と上水需要に対応するために、田邉朔郎は1902年(明治35年)、初代京都市長、内貴甚三郎に第2疏水の建設を進言。内貴はその必要性を認めて動いたが、経済不況と日露戦争、任期満了につき実現できず、第2代京都市長、西郷菊次郎に引き継がれた。第2疏水は京都三大事業の主たる事業として1912年(明治45年)完成。京都の近代化に貢献した。



内貴甚三郎
(1848年～1926年)



西郷菊次郎
(1861年～1928年)

※写真:琵琶湖疏水記念館常設展示図録から転載